



## 心のトレーニング ～道徳教育の推進～

武蔵岡中学校 副校長 柳田 裕司

少し前の話になりますが、7月2日（金）に行われました道徳授業地区公開講座にご参加いただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症対策として、講演会の公開や授業参観における時間の制限等、ご不便をおかけし、申し訳ございません。何卒、ご理解いただけますと幸いです。さて、同講座の公開にあたり、参観後アンケートとして次のとおりご感想をいただいております。ありがとうございました。

- このコロナ禍の中、参観を行っていただきありがとうございました。子供達の色々な考えを聞くことができ、よかったです。
- クラスの雰囲気や、先生と子どもたちとのやり取りを感じられたので、参観できてよかったです。コロナ禍で参観日が中止になったりしていましたが、今年初めて授業の様子が見られて少し安心しました。
- 子供達が本から感じとった気持ちや想像力、考える力を身に付けられた様子を拝見できて、とてもよかったです。
- 6年生は自分の意見を出し合って色々な考え方があることを知ったと思う。みんな真剣で先生も自分の考えを述べたりして、とても素晴らしい授業だったと思います。
- 多少ではあったけれど、学校での授業の様子が見ることができてよかったです。

さて、同アンケートに「地域や保護者と共に行う道徳教育について日頃から感じていること」に関する項目があり、その中で「たくさんの本に興味をもって、想像力豊かに読む楽しさを学んでくれたらと思います。」というご意見をいただきました。

道徳の授業について、小学校では2018年度から、中学校では2019年度から「特別の教科」として全面実施されました。それ以前はいわゆる「副読本」や「副教材」を中心に授業が展開されていましたが、現在は主たる教材である「教科書」を中心に授業が展開されています。教科書に記載されているお話等を通して、道徳的な内容について考え、議論する授業が展開されています。道徳的諸価値について押し付けることはしません。道徳は「心のトレーニング」と称する有識者もいます。「AとB、どちらがよいのだろうか…」「何故、Cはこういう判断をし、このような行動をしたのだろうか…」そういったことを考え、時に話し合いながら道徳的諸価値について多面的、多角的に迫り、子供たちの心を鍛えていく、そんなイメージです。

教科書や副教材等に記載されているものだけが、子供たちの心を揺り動かしているわけではありません。学校図書館の本、家庭で購入した本にある多くのストーリーを通して、子供たちは思考を巡らせます。そういった意味では、いただきましたご意見のとおり、たくさんの本を読むことは「心のトレーニング」につながり、道徳的諸価値を含め、様々なことを多面的・多角的に捉えることができるようになるかもしれません。大変貴重なご意見、ありがとうございました。

これから「読書の秋」を迎えるにあたり、このような視点でも「読書」について考えてみるのもよいのかもしれない。

### 2学期の芝生作業について

9月26日（日）→緊急事態宣言中のため実施しません。

10月10日（日）

10月24日（日）

11月14日（日）

12月12日（日）

※緊急事態宣言が発令されている場合は、中止としております。ご了承ください。

### 運動会について

5月29日（土）から延期した運動会を次のとおり開催します。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

開催日時：10月16日（土）8：50～正午前まで  
会場：第2校舎校庭

※ 雨天の場合は17日（日）に延期です。